

町政を問う！

一般質問

住民総参加で 未来思考型の まちづくりを

奥秋康子議員

町は、平成23年度からの「新たなまちづくり計画」の策定に本年より取り組むとのことだが、計画策定委員は何人で、その役割等を含めどのように構成されるのか。

委員を選考するにあたり、特定化している傾向があるので、重複を避け、参加する町民の層を厚くしていく必要があると思うがいかがか。

町民の意識調査をして町民の声を反映していく

とあるが、意思の疎通をどこまで図れるのか、理想のまちづくりに必要なものはなにか。

高薄町長

まちづくり計画は、初期の段階から住民に参加いただくことが前提で、現在、できるだけ多くのの方が参画できる方法や構成を考えている。

町民の意識調査については、対象を全世帯にするのか、年齢階層別に抽出するのか協議しており、10年先のことを町民自身



理想のまちづくりのためには多くの町民の参画が必要

が学習しながら答える環境をつくっていくことが、未来づくりにつながるのではないか。

理想のまちづくりは、

財政の実態と 今後の見通し

口田邦男議員

町長3期目のスタートにあたり、数々の公約をされている。過去8年で110億円以上の債務返済をし、まもなく借金地獄から脱することができると

しっかりとした経済基盤を構築するための農業活性化による還流社会づくり、少子高齢化社会における安全で安心な暮らしができるものは自分達とていう意識を持っていただく人材育成が必要になる。

高薄町長

① 一般会計の地方債残高は、平成13年度末で13億7800万円あったものが平成21年度末で74億8200万円に圧縮され、行財政健全化実行プランにより平成21年度基金残高も計画より4億5000万円を多く推移しているが、平成24年度決算ま

言われているが、何をするにも財政の後ろ盾が必要であり、次の点について伺う。

① 現時点での財政状況の分析と今後の見直しについて。

では基金を取り崩しながらの厳しい財政運営になる。

② 今の行財政健全化実行プランに沿って、見直しすべきところは見直し、基金を活用しながら粛々と事業を遂行していくが、更に効率的な行政運営を検討したい。

新学習指導 要領の 取り組みは

口田邦男議員

教育の四季を宣言し、本町の教育行政は高く評価されている。このたびの法改正による新学習指

3月定例会では7人の議員が一般質問にたち、13項目にわたって理事者の方針をただしました。